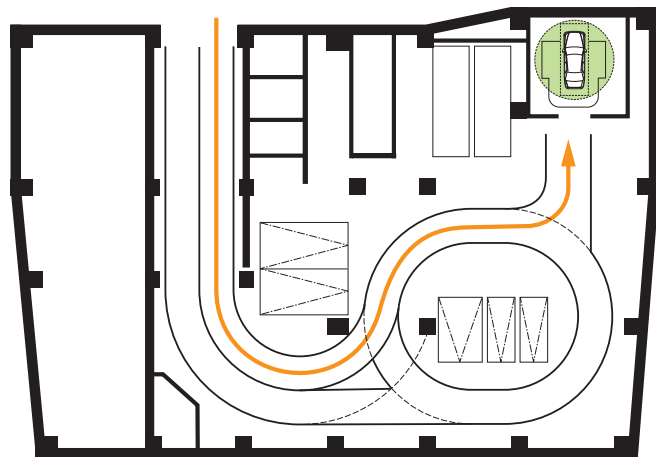




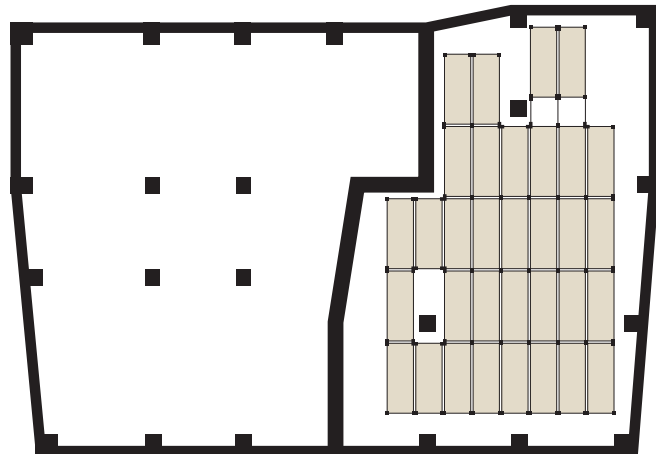
格納部(リフト)



格納部 据付階平面図 右奥側



乗込階(地下1階)平面図



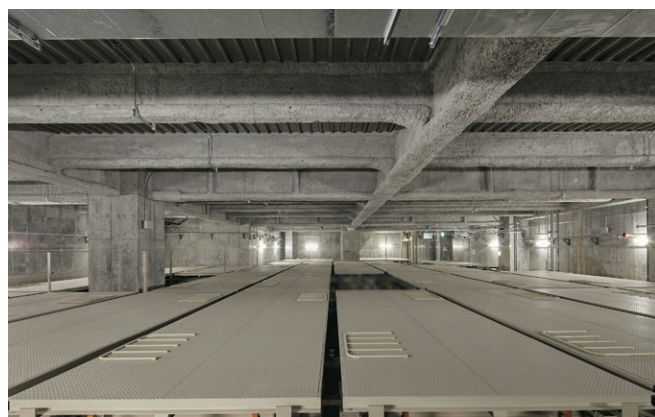
据付階(地下2階)平面図

都市部に立地する当ビルの駐車設備には、水平循環方式「フレキシブルパーク」が採用されました。ターンテーブル内蔵により前進入庫が可能となっており、スピーディーな入庫動作はもちろん、段差のないフラットトレイが安全かつスムーズな車の移動を実現し、利用者の快適性を向上させております。また、ビル裏側からアクセスするスロープを下って入出

庫口に進む設計は、車の滞留を防ぎ、「人」と「賑わい」を分断しません。同方式ならではの設計の自由度を活かし、余剰空間を最小限に抑えた効率的な配置で、地下1層の限られたスペースに最大限の収容台数を確保。私たちは、快適で効率的なビル利用をサポートし、都市環境における利便性の向上に積極的に貢献しています。



リフト部(上部開口)



格納部 据付階平面図 下側(右奥リフト)

「人」の「賑わい」を重視するエリアで 最大に発揮される高機動性

東京2020オリンピック・パラリンピック開催の際に、選手村とスタジアムを結ぶ重要な道路の一部として開通、東京の新しいシンボルストリートとなりつつある「新虎通り」。新橋と虎ノ門を結ぶ環状二号線の地上部道路である、この「新虎通り」は、車道とほぼ同じ幅の歩道が左右に設置されるなど、「人」を中心とした「賑わい」を重視したエリアとなっています。「新虎安田ビル」は、このエリアの真ん中あたりに位置、虎ノ門ヒルズと汐留シオサイトのほぼ中間地点にあります。

建物全体の外観デザインを、白いキャンバスに見立てたとされているとおり、外観は白。その理由は、新しい価値を創造する場でありたい。という想いを込めたからなのだそうです。また、上階から低層部までシンプルに柱を通して、一体感とスタイリッシュ感が表現されつつ、新虎通りに面した1階部分は、シックでどこか懐かしさを感じさせます。



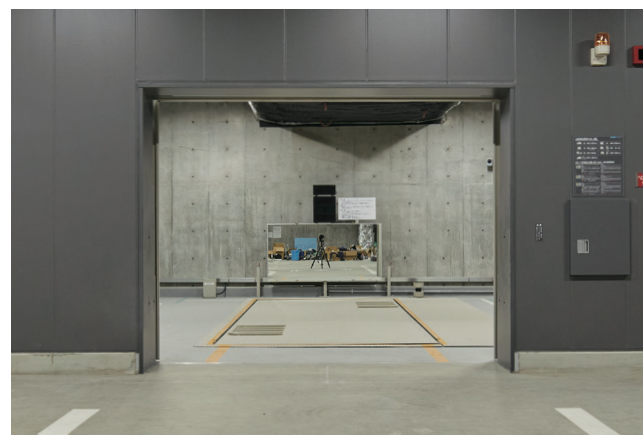
新虎安田ビル 外観

- 【建築概要・規模】
- 建 築 主 / 安田不動産株式会社
 - 敷地面積 / 2,234.19㎡
 - 延床面積 / 25,819.97㎡
 - 構造規模 / 地上14階、地下2階、塔屋2階
 - 設 計 / 株式会社松田平田設計
 - 施 工 / 清水建設株式会社
- 【駐車設備概要】
- 機 種 / フレキシブルパーク(水平循環方式)
 - 型 式 / FLX1LSRH1-30(3)FDHT-B
 - 収容車サイズ / 全長5,300mm×全幅1,950mm×全高2,000mm 重量2,500kg
 - 収容台数 / 大型ハイルーフ車30台

東京のシンボルのエリアで スタイリッシュとレトロが調和した新虎安田ビル

せるレトロなテイストで、街並みに調和しながら、その存在感を主張しています。

環境への配慮、自由な働き方を叶える空間づくりなど、次世代に求められるものを集結し、未来を見据えた新たなビジネス拠点となる「新虎安田ビル」。このビルで働く人だけでなく、国籍や世代を超え行きかう人々にとつて、新たなアイディアを生み出すきっかけが日常的にある、刺激的な場所となることが期待されます。



オートドア開閉時

新虎安田ビル